

40歳

埼玉県議会議員

吉田 よしのり

通信 第179号

2014年 秋冬号

新座市野寺 2-8-48 (八石小学校となり)
 電話 048-483-2777
 FAX 048-483-2780
 ホームページ <http://www.yoshiday.com>
 メール saitama@yoshiday.com

【発行； 民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974 (昭和49)年7月27日、北海道生まれ (38才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京 (旧保谷) 市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て、法政大学法学部を卒業。卒業後、野村證券に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。勤務中は、ファイナンシャルプランナー資格、アナリスト・経済・資格等も合格。
- 2000年2月、新座市議会議員に史上最年少、25歳で、市政始めて以来の 3,855 票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に 16,598 票で2位当選。2007年4月、トップにて再選。
- 2011年4月、無投票にて三期目当選。現在、無所属、民主党を中心とする県議会・第二会派の代表をつとめる。財政規律をしっかりと堅持し、今後のあるべき社会保障制度、教育制度、障がい者・高齢者福祉について議論を展開している。
- 趣味は、水泳、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。好きな言葉は「初心不可忘」「お前がやらずに誰がやる、今やらずして、いつできる」



限界集落から消滅可能性都市へ、これからの地方は！



過疎化などで人口の大半が高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になると言われる「限界集落」という言葉がすでに過去のものとなっ

てしまっています。限界集落のみならず、都市が消滅してしまうという消滅可能性都市という言葉が出てきて

います。今年5月に日本創生会議という団体が、将来、現在の自治体の半分が消滅するかもしれないとするレポートを発表しました。これを受け、各自治体では人口減少対策を加速させており、人口減少問題を最重要課題として、約半数の自治体ではそのための予算を増額させています。

埼玉県においては県全体では人口はまだまだ増加していますが、県北地方を中心に、人口減少の自治体が増えてい

ます。幸いにも新座市をはじめとする県南地域は

いずれも人口が増加しており、そのような心配はありませんが、様々なところで影響が出てくる恐れはあります。地方においては、広域ブロックでの中核都市を中心に資源や政策を集中させることとして

いますし、東京への一極集中を極力避けるような政策誘導をすることとしています。仮に今まで以上に東京への一極集中が進むようであれば、埼玉県や新座市のような東京の周辺地域にも、人口が集中することも懸念されます。そもそも、日本の人口政策は近視眼的だと批判されています。今から40年前の1974年には「日本人口の動向―静止人口を目指して―」という白書が出されました。副題が示すように、世界の人口爆発を阻止するため、日本も率先して人口抑制に努め、食糧不足等の問題解決に努めようと言

われていました。それから20年経ち、低い出生率に危機感を持ち始めたのは1990年代に入ってからのご

とです。少子化は先進国共通の悩みとされながらも、いずれも日本ほどの問題と

なっていません。また、アメリカでもドイツでも、東京の一極集中のような問題は全くありません。「日本ではやはり東京に本拠地を置かなければやりづら

い」と、ある企業家の方が話していました。京都や大阪に本社がある所でも、やはり、東京にも一定の機能を置かなければやりづら

いという

ことでした。アメリカはどうでしょうか。ハリウッドなど映画産業はロサンゼルス、マクドナルドのシカ



ゴ、メットライフや金融のニューヨークはもちろん、スターバックス本社やボーイング社のシアトルや、はたまたネット関連のシリコンバレー等、本社所在都市は正に分散しています。その場限りの政策は、このような大きな問題を引き起こします。

現在、新座市においては東武東上線・志木駅周辺地域と、武蔵野線・新座駅周辺、西武池袋線、ひばりヶ丘駅周辺などに市街地が集中し、市内中心部分の多くが市街化調整地域(法的に宅地開発などが出来ない地域。)となり、開発されていません。今後は、人口動態をしっかりと見極めながら、調整地域をどのようにしてゆくべきか、正に、長期的視線に立ちながら検討すべき時期に来ていると考えています。

新座市や埼玉県においては消滅都市の問題について、あまり意識する必要はないと考えますが、そういった社会の中で、どのような新座市であり続けるべきか、長期的視点に立って考えなければなりません。

吉田よしのりの一行日記!

- 8/2-3 陸上競技大会開会式、市内夏祭り
- 8/4-5 地域訪問、知事後援会暑気払い
- 8/6 朝霞台駅頭、会派調整会議ほか
- 8/7-8 県議会事務処理、市役所陳情
- 8/9-10 新座市空手道連盟総会、夏祭り
- 8/11-12 東久留米駅頭、商工会幹事会
- 8/13 ひばりヶ丘駅頭終日キャンペーン
- 8/16 夏の志木駅頭終日キャンペーン
- 8/17 事務所対応、キツネノカミソリ鑑賞会
- 8/18 朝霞県土整備事務所打ち合わせ
- 8/19 事務所来客対応、西東京市議会議
- 8/20-21 青年地方議員の会総会、勉強会
- 8/22 十文字女子大にて知事視察同行
- 8/23-24 ひばりヶ丘駅頭、市内夏祭り等
- 8/25 市内地域訪問、事務所来客対応
- 8/26-28 県議会自然再生特別委員会
- 8/29 事務所来客対応、後援会役員会
- 8/30 フォレストジャム新座フェスティバル
- 8/31 市民体育大会開会式、四市団体
- 9/1-2 四区総支部会議、市内地域訪問
- 9/3 県議会会派調整会議、県庁事務
- 9/4-5 市内地域訪問、事務所来客対応
- 9/6 褒章受章祝賀会、西東京市政報告
- 9/7 地域民謡の会おさらい会ほか
- 9/8 市内地域訪問
- 9/9-11 県議会来年度予算要望会議
- 9/12 県議会代表者会議、会派会議
- 9/13 市立第五中学運動会、他運動会
- 9/14 市内敬老の集い、準備等
- 9/15-16 市内地域訪問、県内団体要望
- 9/17 埼玉県学童保育の会、意見交換会
- 9/18 ひばりヶ丘駅頭、老人クラブ連合会
- 9/19 新座駅頭、県議会本会議開会
- 9/20-21 市内地域訪問、地域経済学会
- 9/22 県議会議案調査、県内団体要望
- 9/24 志木駅頭、県議会銀調査ほか
- 9/25 県内団体要望、県議会議案調査
- 9/26 志木駅すきっぷたうん商店会部会
- 9/27 市内地域訪問、事務所来客対応
- 9/28 市内さんま祭り、商工会青年部
- 9/29 県議会本会議、一般質問ほか
- 9/30 県議会本会議、団体要望受付
- 10/1 県議会本会議、埼玉学童保育の会
- 10/2 県議会会派代表者会議、本会議
- 10/3 県議会議案調査、都内にて打合せ
- 10/4-5 市内地域訪問、新座市民体育祭
- 10/6 県議会・環境農林常任委員会ほか
- 10/7-8 県議会・自然再生特別委員会
- 10/9-10 県議会本会議、議案調査ほか
- 10/11 新座市産業フェスティバル開会式
- 10/12 産業フェスティバル、商工会青年部

県政報告会を開催します!

埼玉県知事の上田清司氏を招いて、県政報告会を開催致します。当日は、来年改選を迎える上田清司知事の動向等、地元の支援者の皆様に率直に語って頂きます。また、県議会改革の方向性についてもお話しします。



える上田清司知事の動向等、地元の支援者の皆様に率直に語って頂きます。また、県議会改革の方向性についてもお話しします。

と き 11月29日(土)
午後 3時より
ところ 新座市民会館 2階
*入場無料。どなたでも自由にご参加いただけます。事前予約等も必要ありませんので、直接、会場へお越し下さい。

危険ドラッグ撲滅に向け!

埼玉県においては危険ドラッグ撲滅に向けた取り組みを積極的に行っています。

現在、新座市内を含め、埼玉県内にもハーブ店と称して危険ドラッグを販売している店舗が複数あるほか、インターネット上での販売と併用しているケースなどもみられる状況です。

そのような中、埼玉県警が中心となり、販売店への立ち入り検査、販売中止の警告ならびに検査のための商品の買い上げを頻繁に行っています。

危険ドラッグは覚せい剤等よりもはるかに危険と言われています。今後も撲滅のための取り組み強化を行ってゆきます。

#8000、#7000!

上の題字は印刷ミスではありません。皆様は#8000、#7000をご存知でしょうか?

救急車を呼ぼうか?呼ぶほどではないか?迷った時にはぜひ、ご利用ください!

埼玉県では看護師などに協力していただき、小児救急用には #8000(042地域では、048-833-7911)、高校生以上の大人には、#7000(042地域では、048-824-4199)をご利用いただけます!

適切な対処方法や、症状の相談なども受けられます。もちろん無料です。

なお、時間帯は、小児用#8000は、月曜から土曜は午後7時より、翌朝7時まで。休日、年末年始は午前9時より翌朝7時まで。大人用#7000は、毎日午後6時半より10時半までです。

政務活動費の問題について



地方議員の政務活動費について議論になっていますが、私の所属会派では、厳格な基準にもとづき支給しています。具体的には公認会計士や税理士などの指導のもと、使途基準や支出が適当かどうかの判断を頂き、最終的に適当と判断されたものを支出しています。

その上で、会派専属の事務員2人のチェックを受け、さらには県議会・議事事務局の職員数名のチェックを受け、支出が適当となれば支出決定、全面公開、という流れとなっています。基準自体も県議会の明確な使途基準よりさらに高い基準も設けています。

埼玉県議会では私自身が先頭に立ち、私の会派が自民党など、他会派から先駆けて公開したのが5年以上前です。当たり前のことですが、一度も不適当な支出と報道や指摘されたことはありません。

一部に今回の事件を受け、地方議会不要論まで飛び出していますが、地方分権が進み、地方間格差ともいわれるように、地方ごとで決定することが確実に多くなってきています。

埼玉県内での保育園の充足状況、何歳まで子供医療費が無料になっているか、病床数を増やすのか減らすのか、地域での広域道路の決定、財源確保策等々は、すべて地方議会である、新座市議会や埼玉県議会で議論され、決定に至ります。つまりは、自治体ごとに差が出てくるとともに、地方議会の重要性は確実に増していく時代になります。

今後とも、真面目に、地道にしっかりと活動して参りますので、是非、皆様からもお気軽にご意見をお寄せいただければ幸いです。

県政報告配布ボランティア大募集!

吉田よしのり事務所では定期的「吉田よしのり県政報告」を発行しています。毎月一回、ひばりヶ丘駅、志木駅、新座駅、朝霞台駅、東久留米駅頭で配布していますが、それ以外にも市内の全地域を対象に戸別配布も行っています。ご近所のみでも結構です。この配布作業をボランティアして下さる方を大募集しています!